

スーパーバイザー養成研修は大牟田市から梅田真嗣先生をお招きし、六〜一〇月、五日間に亘って密度の濃いご指導をいただきました。受講生からは「日頃の面談を丁寧にするようになり、視野が広くなった」「分り易い講義で大変勉強になった。まだまだ学ぶべきことあはるが、バイザーとして頑張って活動したいと思った」「心から、この研修を受けて良かった。もっと多くの方に受講してほしい」などのご意見をいただきました。

また、秋期に開催した四つの研修では更新研修受講と重なりながらも多くのご参加をいただき、ありがとうございます。

施設介護支援専門員研修では、自事業所のケアプランを持ち寄り、講師の佐藤ちよみ先生にコメントをいただいたり、お互いに点検演習したりする中で、新たな視点を持てるようになったとの感想が大半でした。相互交流が少ない施設ケアマネにとって貴重な体験になったようです。今後も隔年で企画していきたいと思えます。

管理者研修では、京都府介護支援専門員協会事務局長 吉良厚子先生に基本的な姿勢・倫理観に基づいた取組や従業者管理と専門的視点を「指導いただきました。童話を活用した『いつも、何に対しても介護支援専門員の視点』は目からウロコ」の学びでした。また、山口短期大学 佐藤嘉倫准教授には職場内スリースマネシメント・スーパーバイザーを中心とした管理者業務の在り方をご講義いただきました。どちらの先生も対人援助を突き詰めていくには「哲学」が大切であるから、学

びを続けていくようご指南くださいました。

さて次年度は、アンケートでいただいたご意見ご要望、あるいはご提言を取り入れ、十〇テーマ、三十二日の研修を企画いたしました。別紙の年間予定表をご確認ください。また本広報に四研修のご案内を同封しております。実践現場でより有用な、質の向上に寄与する研修となるよう尽力させていただく所存です。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。 (六ページ参照)

本年度、アンケートでいただいたご意見ご要望についての回答。

・東部会場での研修を開催してほしい  
↓次年度、四研修五回を東部会場で行う予定にしております。

昨年度の企画段階で、生涯研修部内部からも東部会場での開催を求める声がありました。しかしながら多くの研修を中央で行ってきたのは費用的な課題もありますが、当協会の研修事業がまだまだ不慣れな状態で、環境的に整っている使い慣れた会場で行わせていただきます。一番には、トラブル対応が早いという要素が大きいのが実情です。本年度は、事務局近くの会場で半分程度を行わせていただきます。中央から離れた地元から、研修参加くださり誠にありがとうございました。

・研修参加費が高い  
↓費用的な課題も東部会場を設けなかった一因です。受講生の参加人数・収益がどのく

らい見込めるものか全く予想つかない状況で計画立案する状況でした。二会場に分けた場合、それぞれの会場費・諸経費が掛かります。参加者が多ければ問題ないのですが、もし収支バランスが悪くなると、次年度の皆様の会費に反映してしまう可能性もあつたため、本年度は安定を選びました。次年度は二会場に分ける研修もあるため、会費に負担をかけない範囲で研修事業を行うには現状の参加費設定となります。何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

・医療的なことについて学びたい  
↓次年度は、ターミナル期支援の研修を企画いたしました。五月には要綱がお手元に届きます。ご参加お待ちしております。

・アンケートで書いた内容に対する県協会の考えが聞きたい  
↓お答えするのが遅くなり、誠に申し訳ございません。おそらく、アンケートで今後の研修への要望をご記入いただいたのに、研修企画（内容や会場）に反映されていないことへのご意見かと存じます。

当協会の研修企画は前年度二月ごろに次年度計画（会場予約と講師調整）が確定します。研修企画のご要望は、ご記入いただいた次年度に反映いたします。

また、今回のように広報紙面等でお答えしていきたいと思えます。

今後とも協会の研修企画がより充実するようアンケートにご協力いただけますと幸甚です。